

第34回東北総合体育大会サッカー競技 (少年男子)

戦評用紙

平成19年 8月 12日() キックオフ (9時30分・13時30分)

会場 あづま陸上・補助陸上・第2多目的

第 1 試合 青森 県選抜 0 [0-1 / 0-0] / 山形 県選抜

《戦評記載者》 鈴木清文 (勤務先: 福島東高技)

立ち上がりから青森はいいペースで、ジョンから攻撃を誘ったが連戦の疲れから運動量が少なくボールが超早的に制が空破に終わった。また押し上げも弱く全体に隙の多い相手がかわるを許す。山形は立ち上がりこそ押しこたえたが、相手ミスで拾い⑩⑫のドリブルからカウンターをかわり⑭のドリブルで先制する。後半は入場も同様の展開が繰り返され青森は選手交代で打開を試みたが、あせりが原因で人がボールを持つ時間が長くなり、最後は粘り強(戦)山形の守備とくずれなかった。U16年々々真夏の連戦といふことで技術、戦術以上にコンディションが試合内容を大きく

左右打大会とされた。選手交代中でのインテリゲンチアスフィアコンテントを継続打探々と言えも大切であった。それ以上に厳しい状況の中でも自分達のカリを覚悟打ムンガの面が強さや、U16のシビアな状況下で選手の出場を覚悟した。選手交代は今後その面での成長も期待したい。

◇記録用紙の裏面にこの用紙を貼付して下さい。